

イノベーション・ノルウェーと浮体式洋上風力分野における協力強化に向けた覚書（MoU）を締結

～日本とノルウェーの強みを融合し、施工手法の確立とエコシステム全体の連携を目指す～

浮体式洋上風力発電建設システム技術研究組合（以下、FLOWCON）は、ノルウェー政府機関であるイノベーション・ノルウェー（Innovation Norway）と、浮体式洋上風力分野における技術開発協業を検討するための覚書（MoU）を2026年6月3日に締結したことをお知らせします。

本署名は、FLOWCON理事長の野口哲史、およびイノベーション・ノルウェーのアジア・中東地域統括ディレクターであるハイディ・M・ダール（Heidi M. Dahl）によって執り行われました。また調印式には、ノルウェー側からマリアンヌ・シヴェルツェン・ネス（Marianne Sivertsen Næss）漁業・海洋政策大臣、日本側から国土交通省の足立大臣官房審議官にご列席いただき、両国の協力強化に向けた重要な一歩となりました。

■ 覚書締結の背景と目的

日本とノルウェーは、いずれも広大な海岸線と深い海を有しており、ともに浮体式洋上風力発電において大きな可能性を秘めています。ノルウェーの洋上産業は、北海油田開発などを通じて50年以上に及ぶ海上・深海での専門技術や知見を有しており、これらは現在の洋上風力発電にも大いに活用されています。

本覚書は、これらのノルウェーの強みと日本の優れた技術力を融合させ、浮体式洋上風力発電の普及・拡大に貢献することを目指します。

■ 主な協力内容と今後の展開

両組織は今後、以下の取り組みを通じて具体的かつ実践的な協力を進めてまいります。

- 1. 建設手法の共同検討と最適化** 双方の知見や情報、技術力を連携させることで、浮体式洋上風力発電建設における効率化と合理的な建設コストの実現を進めます。これにより、発電設備の大量・急速施工手法の確立を目指します。
- 2. 相互理解の促進** 定期的な対話や協力を通じて、互いの市場、規制環境、技術、および運用条件（港湾・海洋オペレーション等）に関する相互理解を深めます。これにより、有望な日本市場に対するノルウェー企業の理解を促し、参画の機会を広げることで、双方に大きな価値をもたらします。
- 3. エコシステム全体の連携と技術交流** 本取り組みは組織間の連携にとどまらず、企業、研究機関、学术界を含むエコシステム全体を結びつける機会を創出します。そのプラットフォームとして、特定のテーマを掲げた定期的な「技術交流会」を開催し、将来的な具体的な合意に向けた継続的な対話を発展させていきます。

■ イノベーション・ノルウェーについて

ノルウェー企業や産業のイノベーションと発展のために重要な役割を担うノルウェー政府機関です。専門性・資本・ネットワークの提供により、ノルウェー企業の持続的な成長と輸出拡大に関わる支援を行っています。



右から マリアヌ・シヴェルツェン・ネス漁業・海洋政策大臣、ハイディ・M・ダール アジア・中東地域統括ディレクター、野口理事長、足立国土交通省大臣官房審議官

